

ワクワク!みんなの思いを乗せて美術館・図書館リニューアル準備中!



▲詳しくは区HP

問合せ 美術館再整備担当課 ☎5984-4723

中村橋を「だれもがアートを 感じられるまち」へ

「だれもがアートを感じられるまち」をコンセプトに、中村橋のまちづくりを進めています。例えば、美術館・図書館、商店街、南口駅前広場、中村橋駅をつなぐ道「アート・コミュニケーション・コリドー」を整備し、アートのスポットを作ったり、イベントを行ったり、交流のきっかけを作ります。



▲詳しくは区HP

※画像は全てイメージです。

リニューアルの注目ポイントを紹介!

Pick up! 展示室を拡張・新設し、より多彩な展覧会を開催!

企画展示室を拡張し、より多彩な展覧会を開催します。また、常設展示室を新設し、練馬のコレクションを常時展示します。



▲企画展示室

Pick up! ブック・アート・キッズスペースで子どもたちの自由なひらめきをかたちに!

アートと本に囲まれた子ども向けの創作空間で、心躍る体験が味わえます。企画展と連動した図書展示、本を持ち込めるカフェなどもあります。



▲児童開架スペース

Pick up! 大きな吹き抜けのエントランスが美術館・図書館を一体化させます!

吹き抜けに本棚が並び開放的なエントランスは、美術館と図書館をつなげるように作られており、思いがけない本やアートとの出会いが生まれます。



Pick up! 歩ける屋根「シェード」にも注目!

建物を囲む、幾重にも重なる歩ける屋根です。歩いて、座れて、イベントも楽しめる、交流が生まれる場所です。



区民の皆さんのワクワク!

みんなが自然に集って、自由を楽しむ。
そんな暮らしの拠点になるといいですね!

— 設計ワークショップに参加した高本美和さん(旭町在住)

もともと建築が好きだったことと、建築家の平田晃久さんが設計することを知ってワークショップに参加しました。平田さんが手掛ける建物は、回遊性があって、美しく、とてもすごいです。ワークショップでは、パース(完成予想図)を見ました。本棚がずらっと並んで、建物を巡るのが楽しくなるような設計に期待が膨らみました。シェードも面白そうだし、カフェもあって、遊びに来たくなりそうですね。みんなが思い思いに楽しめる暮らしの拠点のような場所になってくれたらうれしいです。



区民の皆さんのアイデアから建築を育てていきました

令和5年に設計ワークショップ(計5回)で、建物の使い方などをみんなで考え、アイデアやご意見を設計に反映させていきました。

子どもから大人まで、延べ200名以上の方が参加

こんなアイデアがカタチに!

- エレベーターは大型車いすも乗れる、ゆとりのあるサイズに!
- 多目的室は音や振動を気にせず使える地下1階に!
- 図書館の予約本受取コーナーはアクセスしやすい、入口のそばに!



ワクワク!美術館に来館された方の声も紹介!



絵本とアートを一緒に楽しみたい!

ワークショップや企画展をたくさんやってほしい!



商店街の方のワクワク!

美術館・図書館を中心にアートがあふれる
元気なまちになるといいな!

— はなんちゅ 向井英貴さん

美術館の展覧会はユニークなものが多く、いつも楽しませてもらっています。商店街の夕市などで、美術館のグッズや催しの紹介を行い、美術館を応援してきました。これからの中村橋は、美術館・図書館を中心にアートがあふれ、さらに活気のあるまちになるといいですね。私もお花でまちに彩りを添えられればと思います。



店を構えて約50年!

子どもたちの豊かな感性を育むまちになるといいな!

— 京風豚丼どんぶらこ 浅川恭平さん

まちづくりに合わせて、美術館の企画展にちなんだ期間限定メニューを提供できたら楽しそうですね。まちを盛り上げるために積極的に関わってみたいです。これからの中村橋は、子どもたちにさまざまなインスピレーションを与えられるまちになるといいですね。アートに囲まれながら、豊かな感性を育ててほしいです。



もっと思いを乗せよう

美術のまち構想 アートの視点で考えるまち歩きワークショップ

中村橋駅周辺を歩きながら、まちなかのアート活動を一緒に考えます。図④中学生⑥小学4~6年生 回9月13日(土)④午前10時~正午⑥午後1時~3時 場サンライフ練馬店(株)HOKET職員定各15名(選考) 申区HPまたはハガキで①催し名(④⑥の別も)②住所③氏名(ふりがな)④学年⑤電話番号⑥応募理由を、8月22日(必着)までに〒176-8501区役所内美術館再整備まちづくり担当課 ☎5984-1288



9/13 土

専門家のワクワク!

広くなる展示室で、作品の奥深さや面白さが
より伝わる展覧会を開催したい!

— 練馬区立美術館学芸員 新井晃さん



私は現代美術を専門にしているので、難しく思われがちな現代美術作品の社会的背景や作家の意図をひもとき、作品の奥深さや面白さがより伝わる展覧会を、広くなる展示室で開催していきたいです。

リニューアル後は常設展示室が新設され、約7,700点の所蔵作品をより多く紹介できるようになります。美術の拠点として、作品の公開はもとより、研究、収集、保存にますます注力し、作品を後世へと継承していきます。



▲展覧会の様子

美術関係図書がさらに充実した図書館にしたい!

— 貫井図書館館長兼司書 木南元成さん



図書館と美術館が一体となって地域に貢献したいという思いで、美術館の企画展の開催に合わせて、図書展示コーナーに周知用のオリジナルポスターを掲示したり、ワークショップを一緒に行ったりしてきました。リニューアルに合わせてさらに連携を深め、多くの美術関係図書を美術館から移管し、現在でも3,000冊以上ある図録などをさらに充実させます。また、カフェやブック・アート・キッズスペースなどが設置される予定ですので、幅広い年代の方に利用していただきたいですね。



▲図録コーナーの様子